

白新中学校部活動改革について

～部活動改革の先を見据える学校づくり・地域づくりのあゆみ～

1. 「部活動地域移行」が抱える問題点について
2. 部活動改革に向けた取組
3. 改革の構想
4. 取組（1年目）～2023～
5. 取組（2年目）～2024～
6. これからに向けた課題



白新中学校部活動改革担当 堀 里也
Create, Change, and Keep Creating

はじめに

「地域において活発な文化・スポーツ活動が行われており学校に指導者がいない場合など、地域社会にゆだねることが適切かつ可能なものは委ねていくことも必要である。」

〇〇〇〇年（〇〇〇年）中央教育審議会答申

はじめに

「地域において活発な文化・スポーツ活動が行われており学校に指導者がいない場合など、地域社会にゆだねることが適切かつ可能なものは委ねていくことも必要である。」

1996年（平成8年）中央教育審議会答申

～約30年前から言われていた「地域移行」なぜ、今までそれが実現できていないのか？～

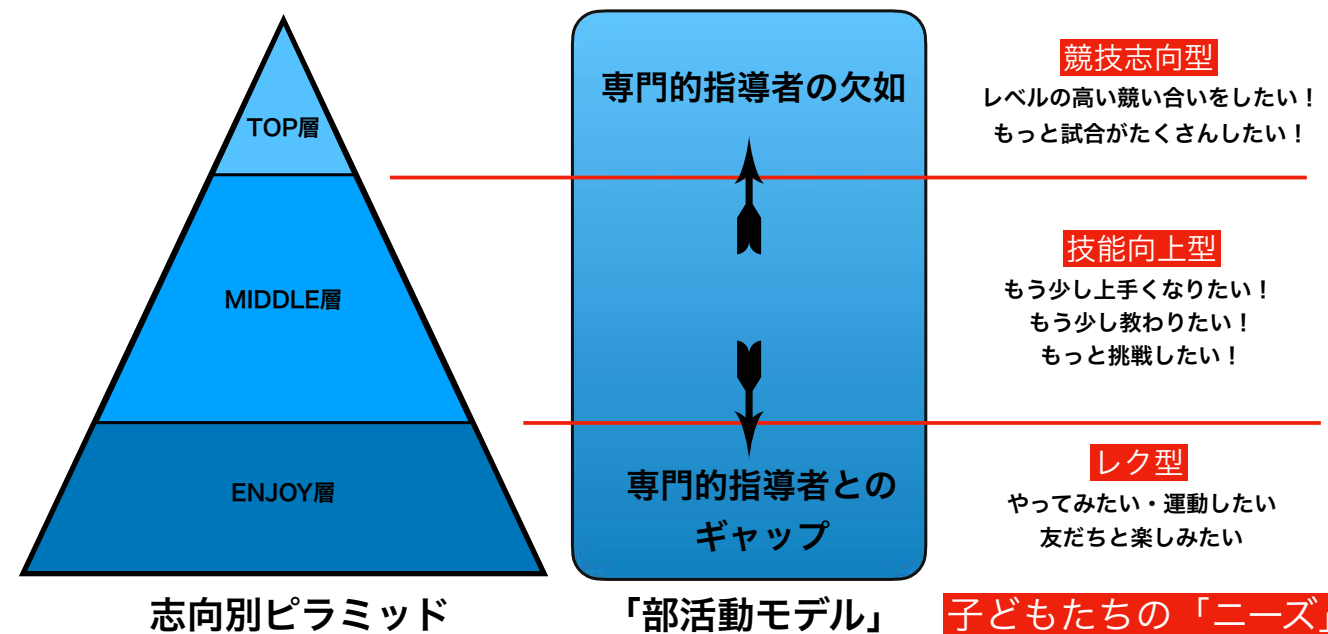
地域において活発な文化・スポーツ活動が行われているならば

👉 これまで「部活動」がそれを担ってきたのでは？

👉 いま「部活動」の持続不可能さが表面化した

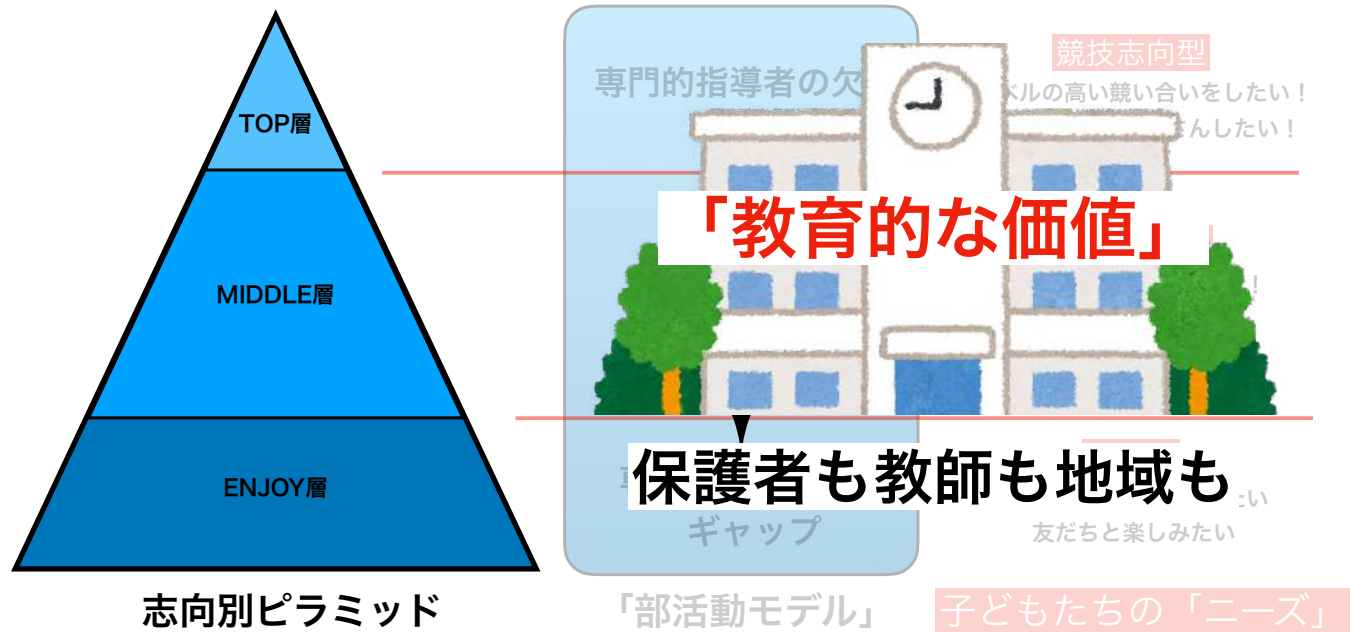
1. 「部活動地域移行」が抱える問題点について

部活動加入生徒は、そもそも同じレベルの興味関心をもっているとは限らない。むしろ多様性に富んでいるはず



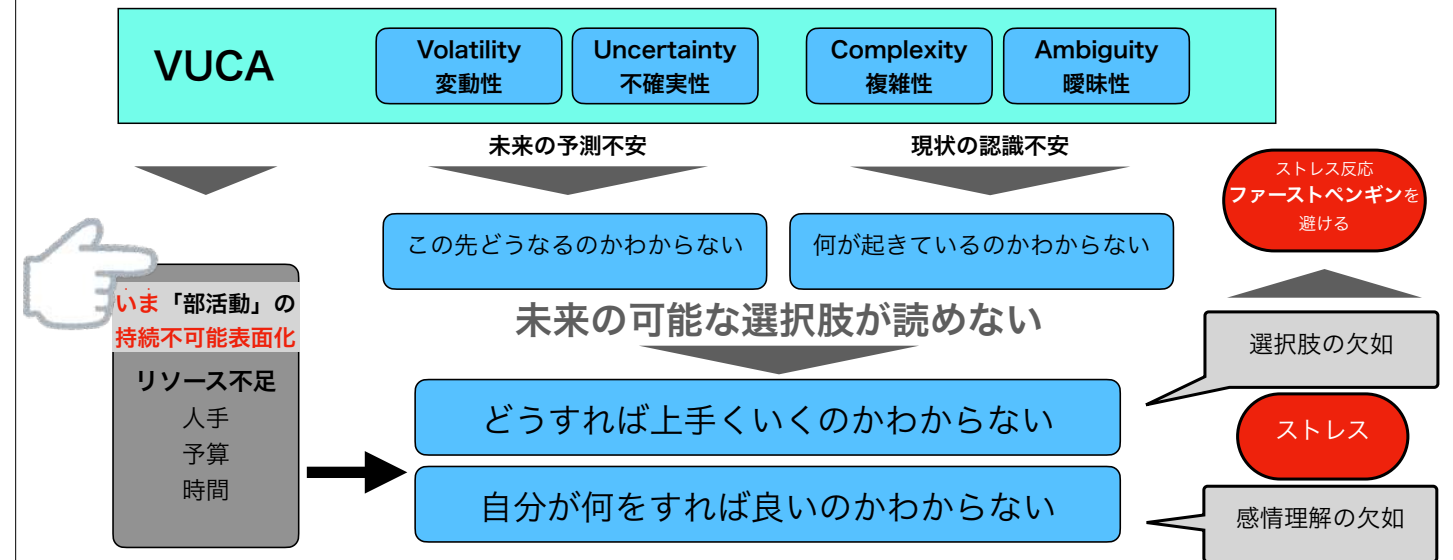
1. 「部活動地域移行」が抱える問題点について

部活動加入生徒は、そもそも同じレベルの興味関心をもっては限らない。むしろ多様性に富んでいるはず



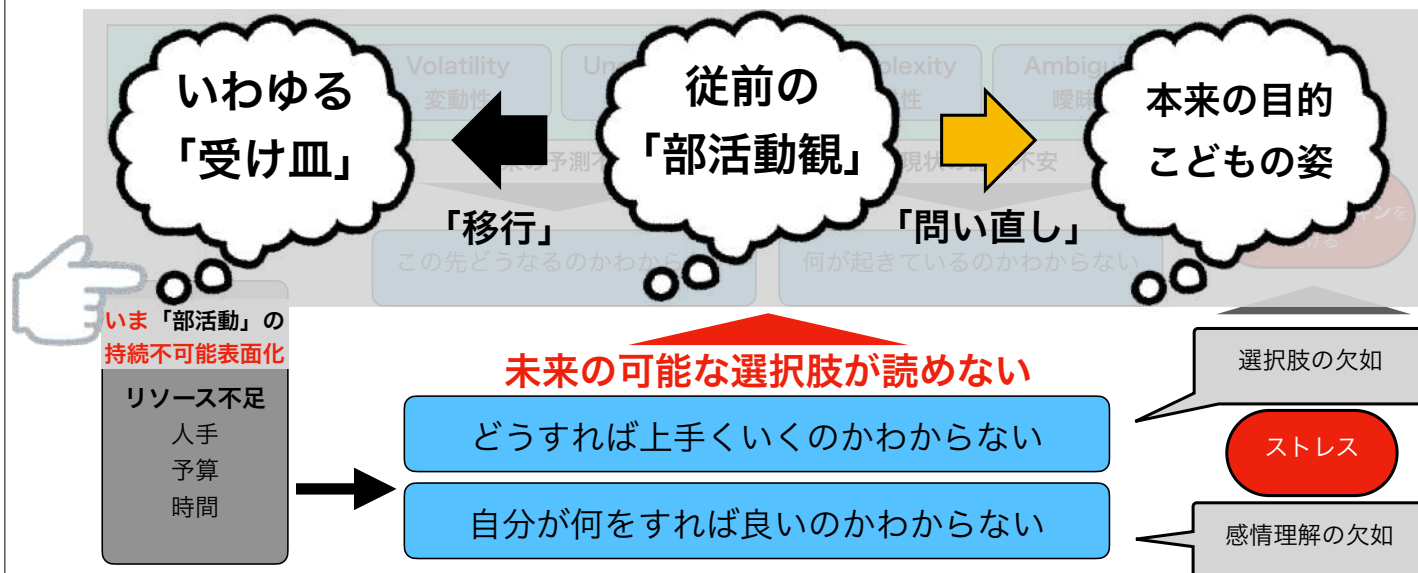
1. 「部活動地域移行」が抱える問題点について 部活動改革と「VUCA」

不確実な環境における「学校・教師側のわからなさ」の連鎖構造



参考文献 「パラドックス思考」 舘野泰一・安齋勇樹 (2022)

2. 白新中部活動改革に向けた取組 「部活動観」の問い直しから始めた部活動改革



参考文献 「パラドックス思考」 舘野泰一・安齋勇樹 (2022)

2. 白新中部活動改革に向けた取組 「部活動観」の問い直しから始めた部活動改革

- | | | |
|---------------|---|---|
| 2018 (平成31) 年 | 「部活動種目の適正化と新設の動き」 | ・通常18:20 大会前18:50 7:30~朝練可能
・男子ソフトテニス部の新規募集停止 |
| 2019 (令和元) 年 | 「部活動の成果とは何か」
「スポーツマンシップ教育と部活動」
部活動で育む資質能力=教育課程で育む資質能力 | ・部活動終了時刻変更 (通常17:50まで冬季17:20) |
| 2020 (令和2) 年 | 「部活動におけるコロナ対応」 | ・女子卓球部の開設
・3年生の頑張りを読める会 |
| 2021 (令和3) 年 | 「スポーツマンシップ教育と部活動 (3年目)」 | ・野球部の新規募集停止
・部活動終了時刻変更 (通常17:20まで) |
| 2022 (令和4) 年 | 「部活動改革に向けた準備 (構想) 9月～」
「部活動改革に向けた説明と体制構築」 | ・男子バスケット決勝辞退による全国優勝 |
| 2023 (令和5) 年 | 「放課後をデザインし直す」
「部活動改革本格実施」 放課後デザイナー制度と白新ユナイテッド | ・学区小学校5・6年生保護者にアンケート
・第2回CS (8月) で部活動改革案の承認
・入学説明会で部活動改革案説明 |



2. 白新中部活動改革に向けた取組 部活動改革 国の方針（2022）の確認

部活動改革・地域移行の背景と主な目的

子供のスポーツ機会確保・充実に向けた運動部活動改革の加速化

背景・課題

- これまで多くの中学校等の生徒のスポーツに親しむ機会は、学校が運動部活動を設置運営する形で確保されてきたが、少子化や学校の働き方改革が進む中で、現行の、**学校単位で活動し、指導は教員が担うという運動部活動の継続は困難**であり、**今後、生徒がスポーツに親しむ機会が大きく減少してしまう恐れ**がある。
- こうした事態を避けるため、**学校の運動部活動に代わり、地域において運動・スポーツの機会を将来にわたって確保・充実**できるよう、**子供が地域でスポーツに親しめる環境を新たに構築**していく。

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月6日）の概要

※公立中学校等（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学校部）における運動部活動を対象

目指す

- 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。このことは、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- スポーツは、自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」を感じることに本質。自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保。（スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供）

2. 白新中部活動改革に向けた取組 部活動改革 白新中の目的と方針（2022～）

生徒の自主的な運営で放課後をデザインすることを通して
教育目標の実現に向けた資質能力を育む環境を整備する



独立行政法人教職員支援機構

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（2022、スポーツ庁・文化庁）

2. 白新中部活動改革に向けた取組 部活動改革 白新中の目的と方針（2022～）

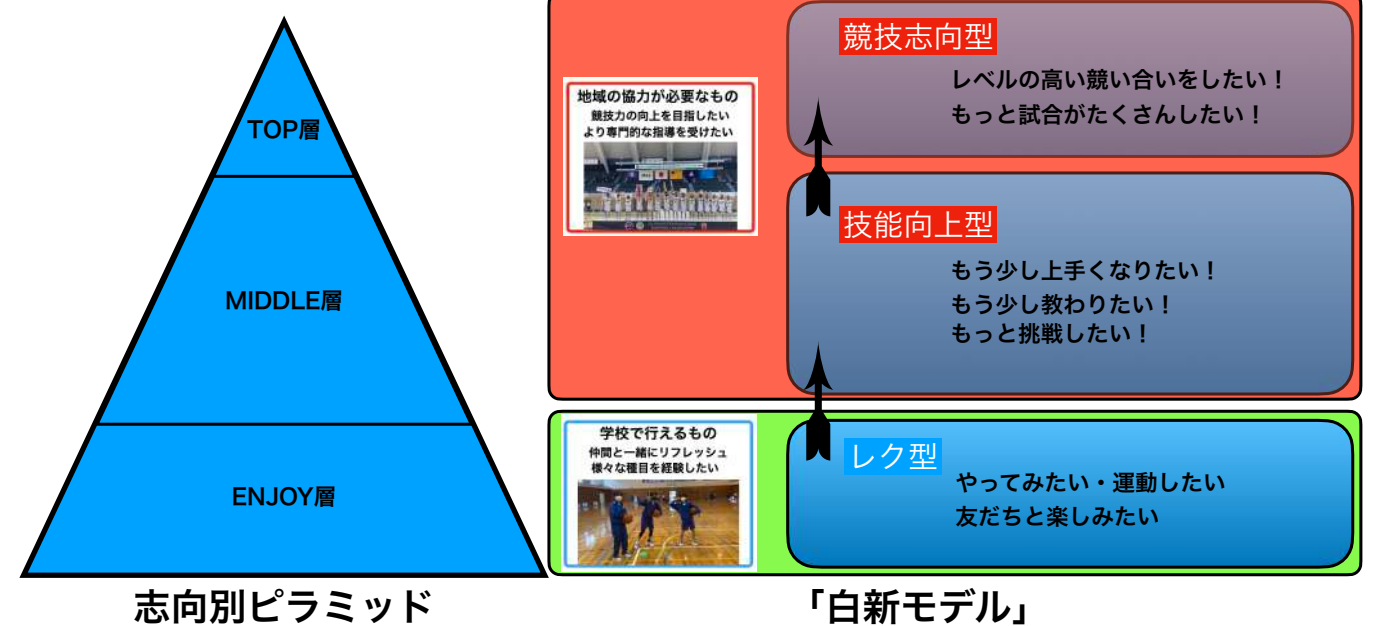
生徒の自主的な運営で放課後をデザインすることを通して
教育目標の実現に向けた資質能力を育む環境を整備する

生徒が輝く
ブカツイノベーション

～生徒自らがデザインする放課後活動の創造～

「ブカツイノベーション」…従前の「部活動観」を革新し、新たな価値を創造する

2. 白新中部活動改革に向けた取組 「地域でできること」と「学校でできること」の棲み分け



2. 白新中部活動改革に向けた取組 中学校区3校合同 学校運営協議会で基本方針の承認

生活する地域で生涯にわたってスポーツや文化に関わる態度を育む

放課後デザイナー活動

校内でのスポーツ・文化活動の目的は
「レクリエーション」

- ・活動は週2回 1回1時間程度
- ・自分が参加したい活動を企画、選択し、活動します。
- ・参加はもちろん希望制です。費用もかかりません。
- ・中体連の大会には参加しません。
- ・将来的には、地域の方々と多世代にわたる交流がうまれる活動をイメージしています。



HAKUSHIN UNITED (スポーツ・文化)

民間クラブが校内施設で、スポーツ等をさらに上達させる
「競技志向・技能向上」

- ・活動時間 平日17:00~18:45 および休日
- ・活動頻度は各クラブによります。新潟市ガイドライン等の基準に沿っているか等、認定基準をもとに、審査委託したクラブが活動します。
- ・各競技団体の大会、中体連の大会に参加可能です。
- ・各クラブ参加に関する費用がかかります。各クラブにもよりますが、3,000円~8,000円程度です。



R4 7月小中合同学校運営協議会資料

2. 白新中部活動改革に向けた取組 基本方針の決定 教育目標に沿った目指すべき生徒の姿

R4年6月
基本方針

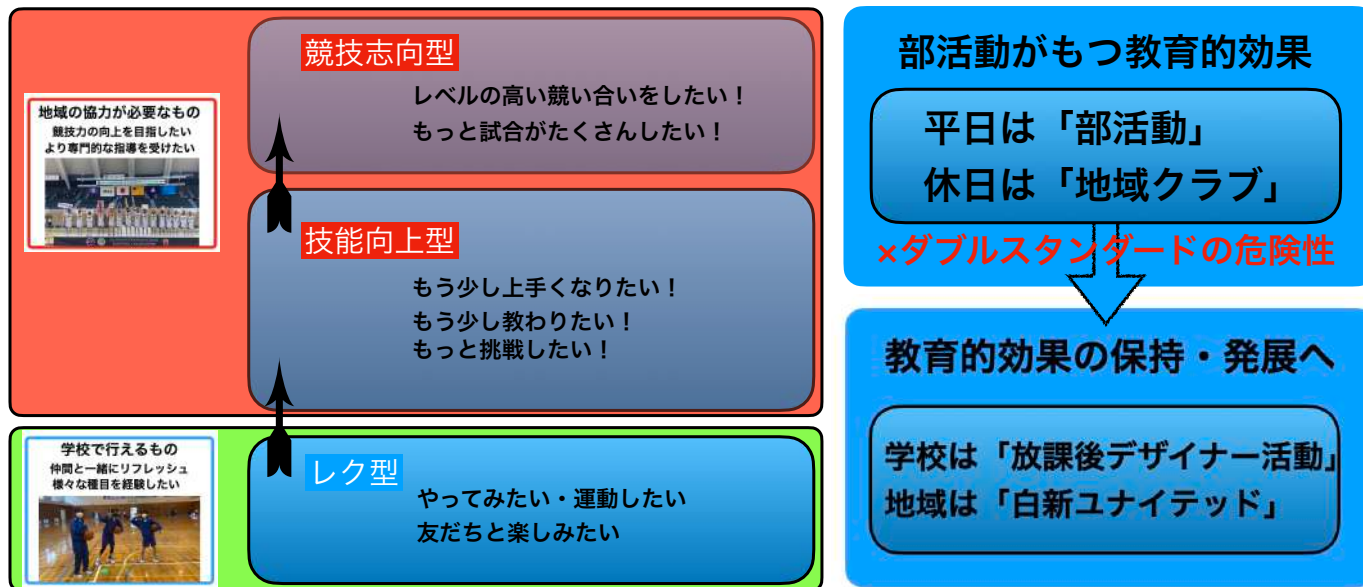
白新中学校の基本方針

- 1 平日の活動も含めて検討する
- 2 現状の部活動を移行するという考え方はしない
- 3 地域の協力を得て学校と地域で役割分担する



放課後の時間を生徒がデザインする
→ 自分で考え行動する
→ 自分たちで考え行動する

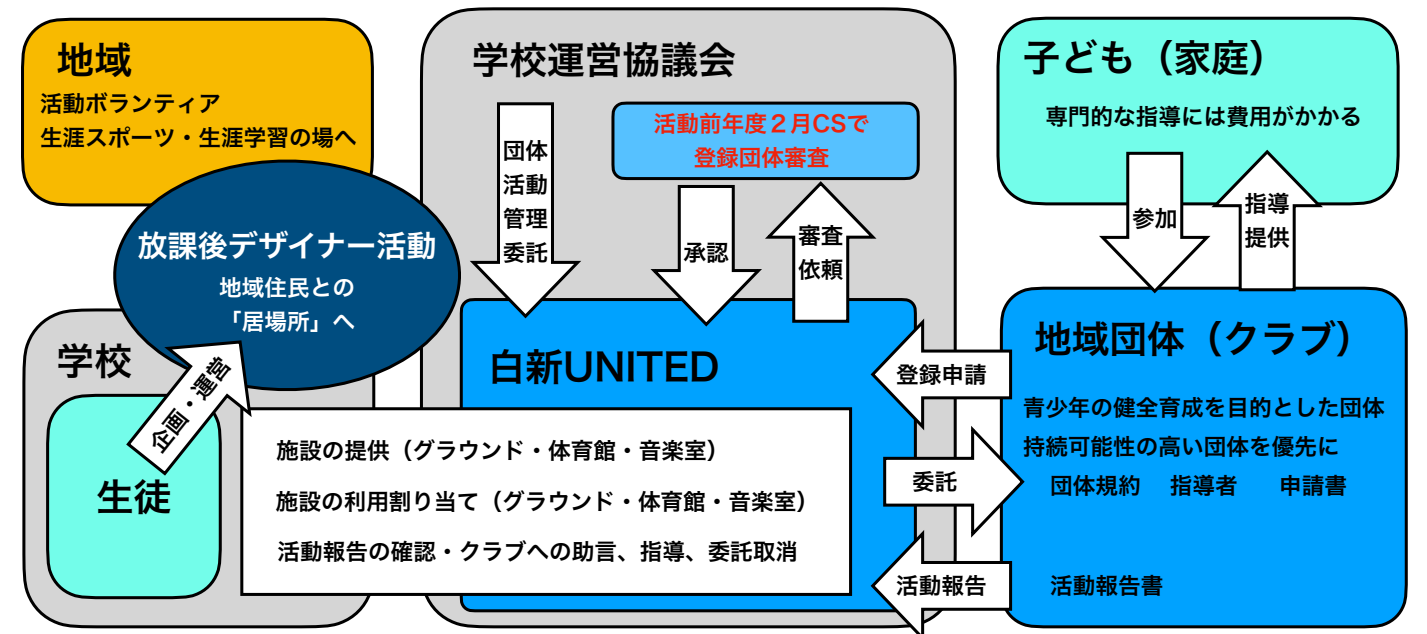
3. 白新中部活動改革の構想 (1)「地域でできること」と「学校でできること」の棲み分け



「白新モデル」

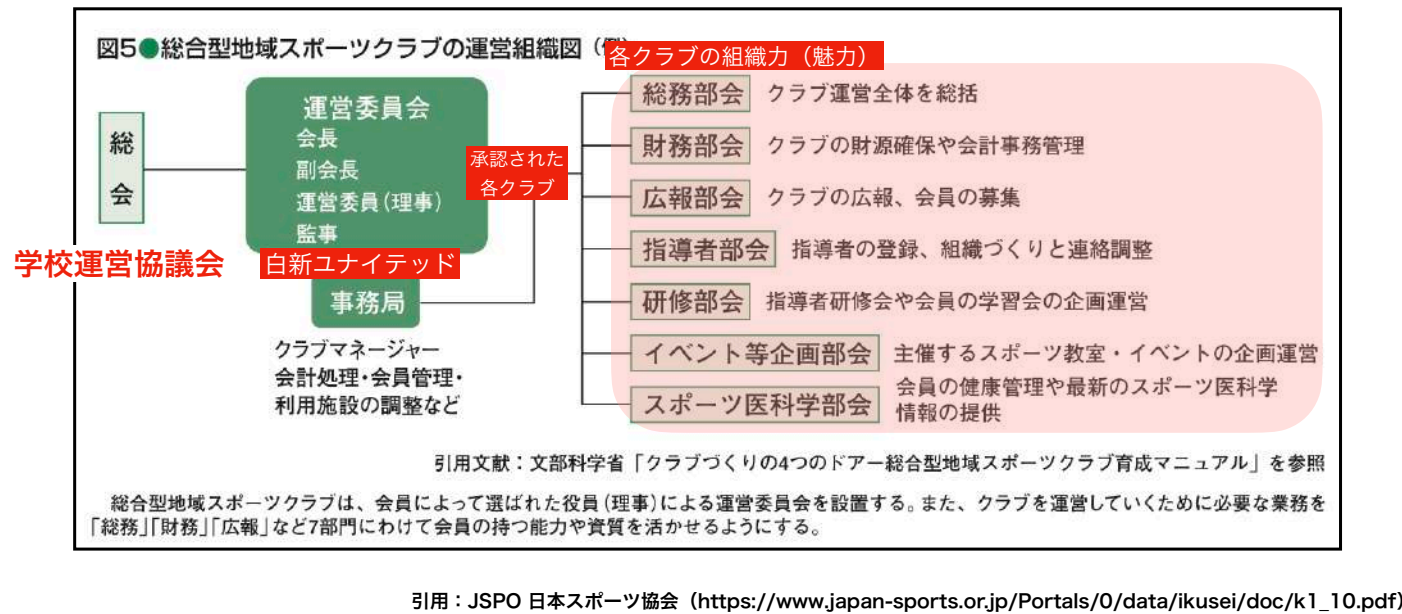
3. 白新中部活動改革の構想 (2)学校運営協議会との協働

「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」 (学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン)

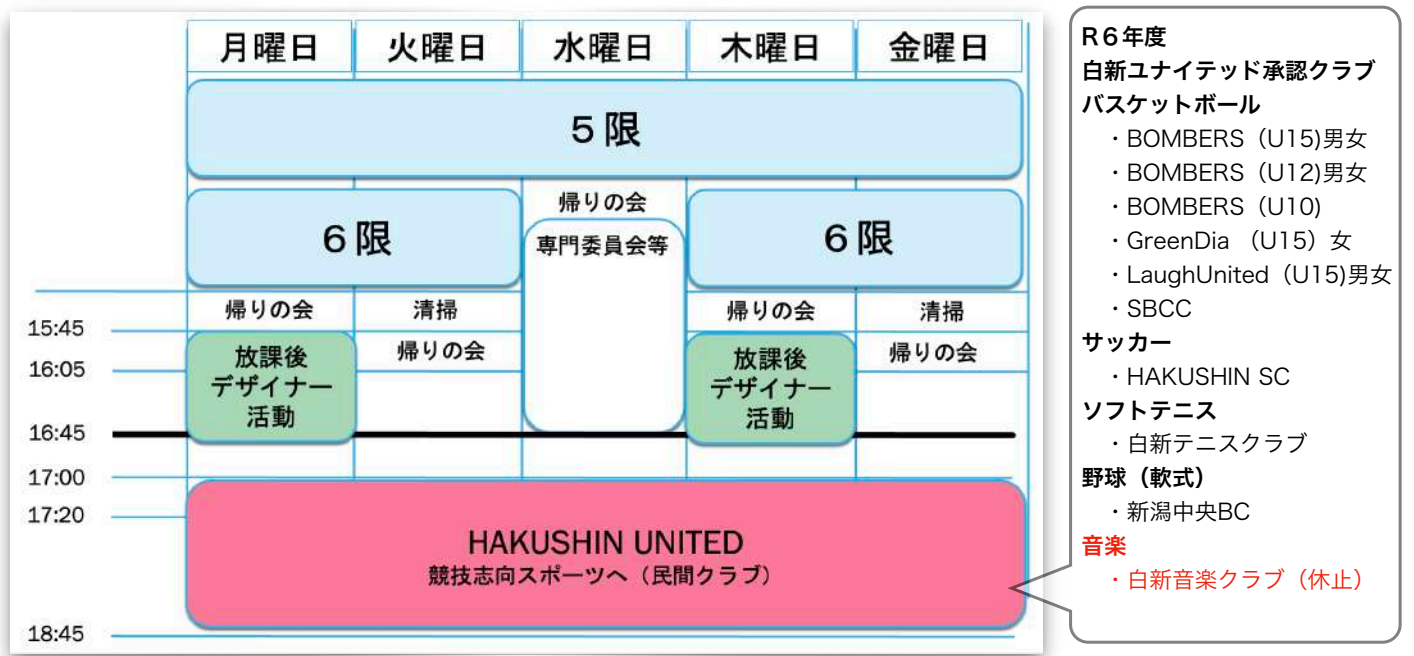


3. 白新中部活動改革の構想 (2)学校運営協議会との協働

「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」 (学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン)



3. 白新中部活動改革の構想 (3)活動を棲み分けるために「放課後をデザインし直す」



改革初年度(2023) 職員向け資料 「放課後デザイナー活動の構想」

「放課後活動デザイナー」が活躍します！

R5(2023)年度のゴール 放課後活動の校内環境整備「子どもの笑顔を生み出す場」へ

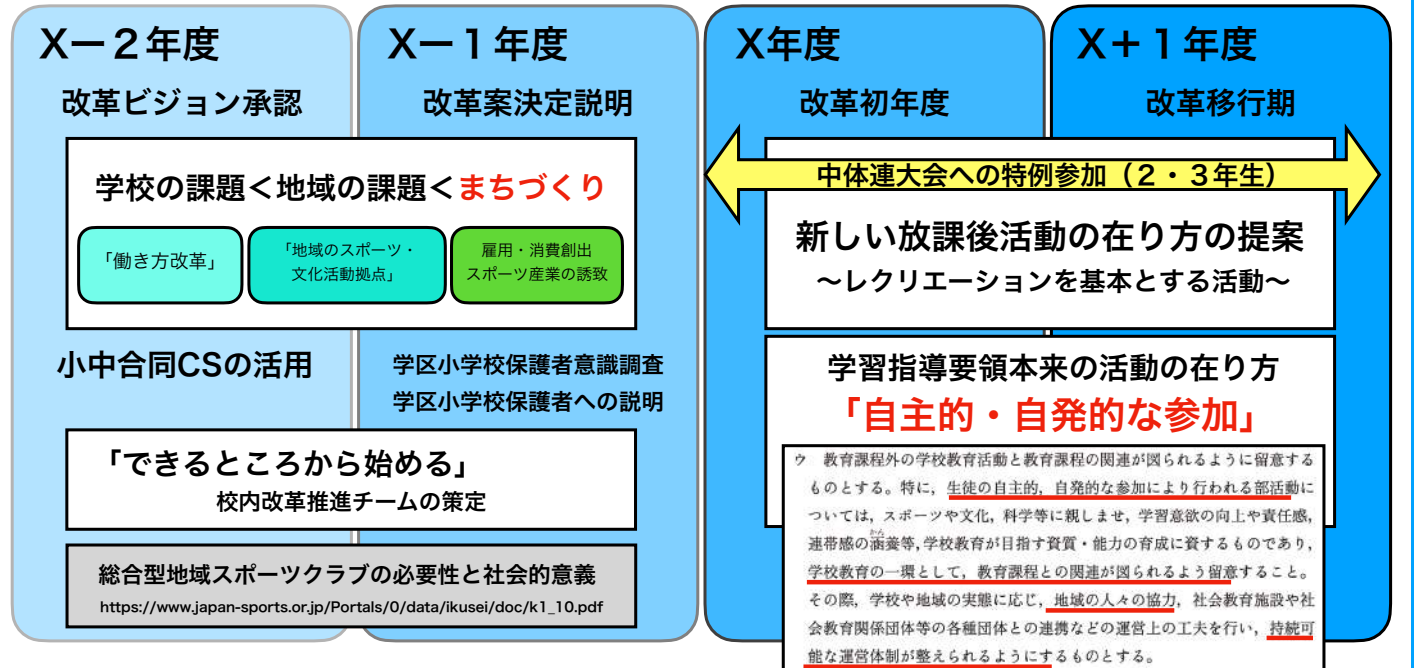
3期の実践による課題の共有を通して、より生徒のニーズにそった放課後活動が実施され、生徒の学校生活満足度が高まる。地域の祭りに向けた活動などを通して、地域人材が放課後活動に参入し「地域と深く関わることができた」と感じる生徒が増える。



R6(2024)年度のゴール 放課後活動の地域展開「地域と共に歩む学校」へ

地域の課題解決に向けた活動(防災など)を通して、地域に貢献し「地域と深く関わることができた」と感じる生徒が増える。地域の人材が放課後活動に関わることを通して、地域住民がスポーツ・文化と関わる拠点となる。

改革初年度(2023) 対外説明用資料 「部活動改革パッケージ」



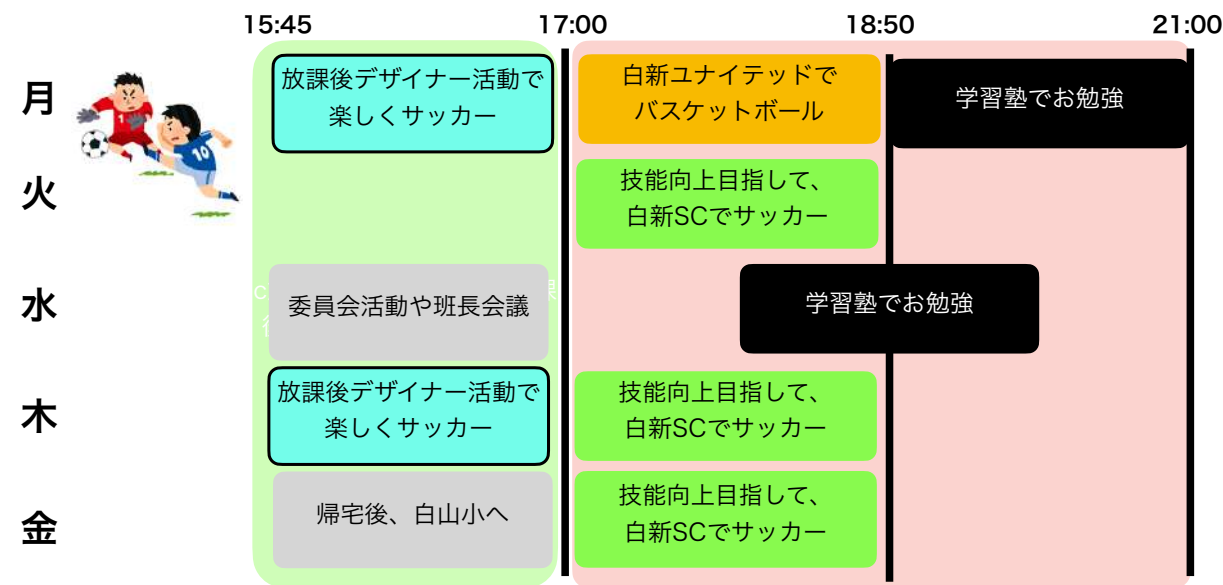
4. 取組の実際 改革1年目 放課後の生徒の動き「放課後をデザインしている姿」

バスケットが好きなA君 「スポーツ生活能力」(清水2017)の高い生徒



4. 取組の実際 改革1年目 放課後の生徒の動き「放課後をデザインしている姿」

サッカーもバスケも好きなB君 放課後デザイナー活動で楽しくサッカー = 「スポーツ環境を創生する」生徒



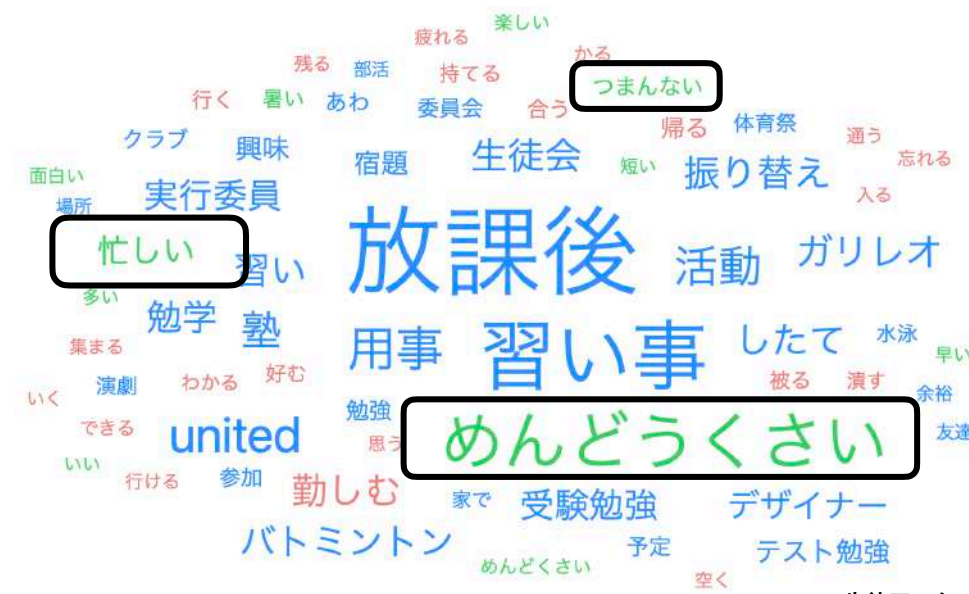
4. 取組の実際 改革1年目 放課後の生徒の動き「放課後をデザインしている姿」

吹奏楽好きなC君 社会と関わり「自らの未来を作り出そうとする学び」(山住2022)



4. 取組の実際 改革1年目 放課後デザイナー活動に楽しむ生徒がいる一方で

Q.放課後デザイナー活動に参加しなかった理由を教えてください



4. 取組の実際 改革1年目 放課後デザイナー活動に楽しむ生徒がいる一方で

(n=134) 72.5%


質問項目	1 はい	4 いいえ
1 楽しかったですか	1.38	
2 精一杯、全力を尽くして活動することができましたか	1.49	
3 今回、経験したことは、自分にちょうど合っていましたか?	1.72	
4 深く心に残ることや、感動することがありましたか?	2.45	
5 今まで、できなかったことが、できるようになりましたか?	2.30	
6 「あっ、わかった!」とか「あっ、そうか!」と思ったことがありましたか?	2.43	
7 活動の約束を、きちんと守ることができましたか?	1.44	
8 自分から進んで活動することができましたか?	1.74	
9 自分のめあて(目標)に向かって、何回も練習できましたか?	2.22	
10 思わず拍手したり、「わー!」と歓声をあげたりすることがありましたか?	1.94	
11 友達とお互い教えたり、助けたりしましたか?	1.64	
12 友達と協力して仲良く活動できましたか?	1.26	

参考尺度 高橋・長谷川・刈谷 (1994) : 体育学研究39 : 29-37
生徒アンケート 2023年7月実施

4. 取組の実際 改革1年目 放課後デザイナー活動に楽しむ生徒がいる一方で



生徒の自主的な運営で放課後をデザインすることを通して
教育目標の実現に向けた資質能力を育む環境を整備する

想定では



文化祭のような
企画をしてみたい

実際は

4. 取組の実際 改革1年目

子どもたちの放課後をデザインし直すことを通して、
子どもたちが放課後をデザインし直すことができるようになる

豊かなスポーツ・文化活動に親しむ子どもたちの資質能力を育成する

「ブカツイノベーション」…従前の「部活動観」を革新し、新たな価値を創造する

放課後デザイナー活動について

子どもの意見を取り入れながら
「できる」を増やしていけるようになること
活動の最終形はどこにあるのですか?
教育課程との関連を図りながら
子ども条例を意識しながら
活動がだらけたりすることはないか?
楽しさ・居場所の創造

白新ユナイテッドの活動について

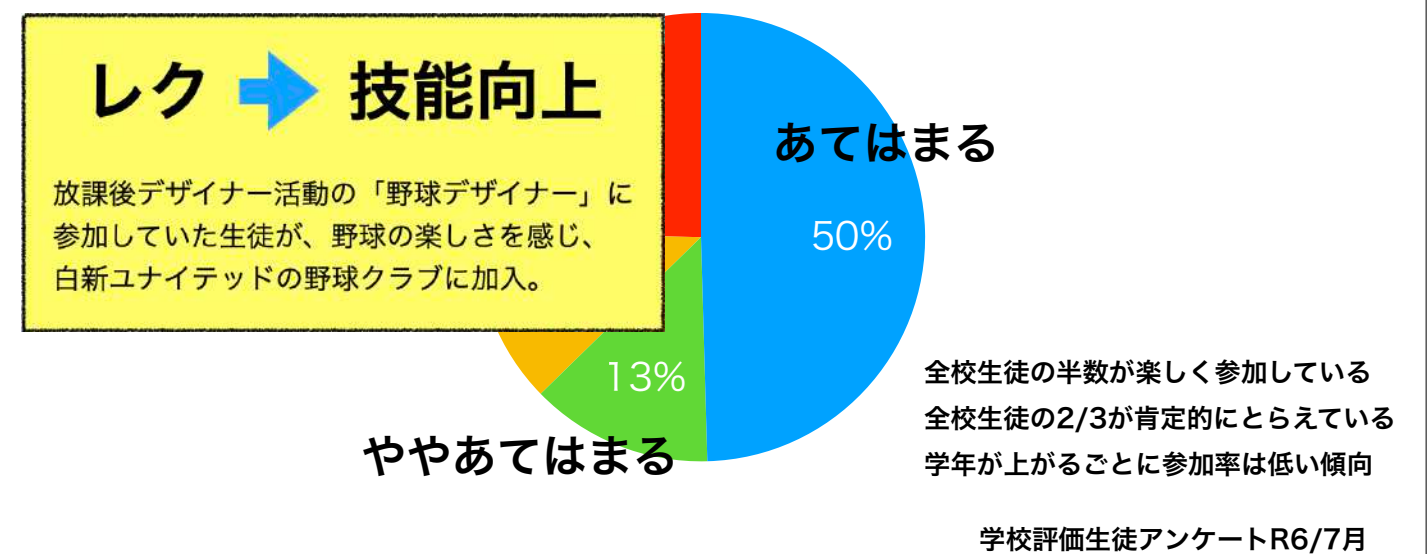
持続可能な体制の構築
魅力あるクラブ運営による地域の魅力向上
受け手(皿)の地域クラブの募集は?
限られた施設の有効(最適)活用
指導力の担保(ライセンス)
指導者の報酬は?
クラブとしての魅力創造

本来の「目的」に立ち返り、学校(学習指導要領)と地域(スポーツ基本法・文化芸術基本法)で役割分担をする

5. 取組の実際 改革2年目

子どもたちの放課後をデザインし直すことを通して、
子どもたちが放課後をデザインし直すことができるようになる

Q.放課後デザイナー活動に楽しく参加しましたか



5. 取組の実際 改革2年目

子どもたちの放課後をデザインし直すことを通して、
子どもたちが**学校**をデザインし直すことができるようになる

生徒会組織の改変

部活動がなくなったことにより、中体連大会に出場する生徒を
応援するための、「激励会」がなくなった。

「激励会」を担当する「応援団指導部」の存在価値を問い直し

「臨時生徒大会」を開催し、「応援団指導部」は、
学校生活を活気づけ豊かにする「活動応援委員会（仮）」に
放課後デザイナー活動の運営を主軸とした組織に改変

5. 取組の実際 改革2年目

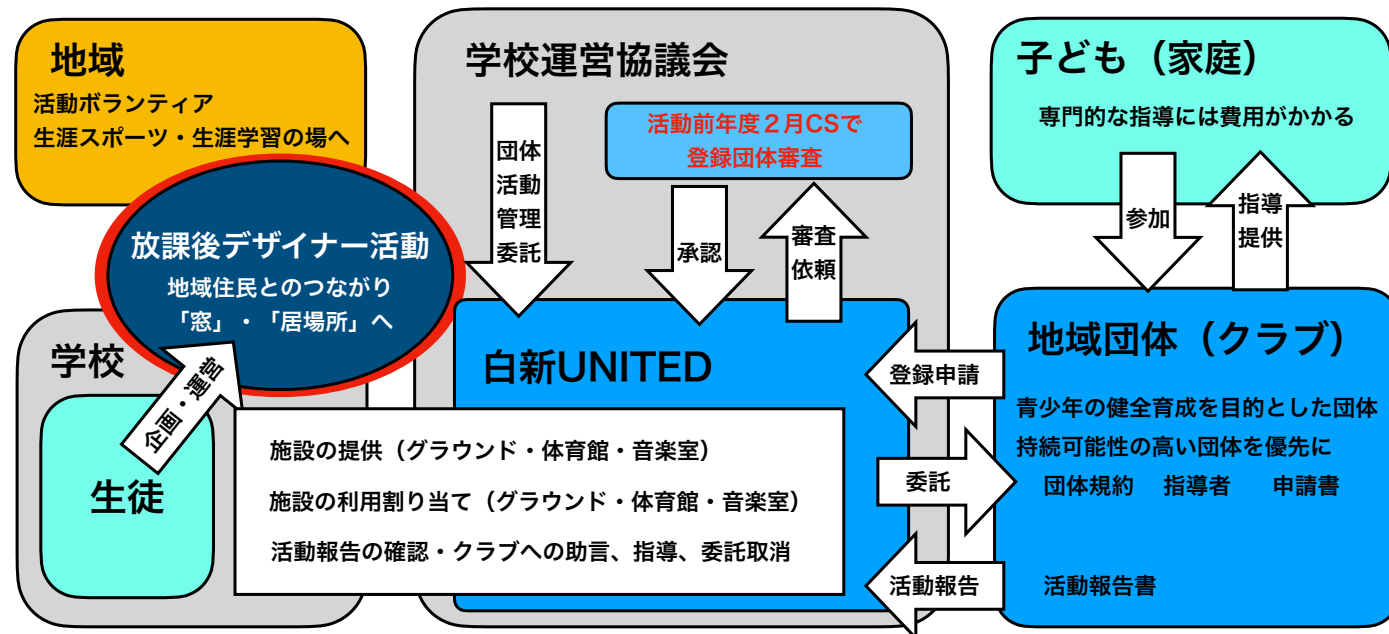
進化する「放課後デザイナー活動」①オープンスクール



5. 取組の実際 改革2年目

進化する「放課後デザイナー活動」②地域との協働

「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」
(学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン)



5. 取組の実際 改革2年目

進化する「放課後デザイナー活動」②地域との協働

学校運営協議会が目指す地域の姿「やりたいが実現できる地域」



地域の魅力さらなる向上へ「歴史ある住吉行列の文化継承」

5. 取組の実際 改革2年目 進化する「放課後デザイナー活動」②地域との協働

学校運営協議会が目指す地域の姿「地域住民全員がかかわりをもてる地域」

「防災～学校と地域の協働～」

10/27（日）生徒が運営する「楽しく学ぶ防災イベント」



小中合同学校運営協議会 7月末



地域の方々から「防災」のアイデアをもらおうよ！

防災に関する学習を体験した生徒たち → ある生徒の感想「みんなが楽しく学べる防災イベントをやりたい」 → じゃあやってみよう

5. 取組の実際 改革2年目 進化する「放課後デザイナー活動」②地域との協働

学校運営協議会が目指す地域の姿「地域住民全員がかかわりをもてる地域」

「防災～学校と地域の協働～」

「ワクワク防災大作戦」



5. 取組の実際 改革2年目 進化する「放課後デザイナー活動」
③体育授業からスポーツイベントの創出



5. 取組の実際 改革2年目 進化する「放課後デザイナー活動」
③体育授業からスポーツイベントの創出

球技 学びの足跡	「運動が苦手な人でも楽しんで参加するイベントにするためにはどのような工夫を取り入れれば良いだろうか？」
1回目の授業（5月27日） ◎今日の授業で一番大切だったことは？ チーム分けや道具の準備などをスムーズに進めて、みんな楽しくゲームをしていた。他に必要なのはルールのブラッシュアップとそれの共有だと思う。でも、自分も久しぶり活躍できたし、楽しかったから良かった。 自己評価 A	2回目の授業（5月29日） ◎今日の授業で一番大切だったことは？ チームで役割分担をし、それぞれの係で活動していた。ルールを見直して書き出したり、思いついた案があったら共有したりしてそれぞれの活動に取り組み、それぞれがイベントに向かって爆進する1時間だった。 自己評価 A
3回目の授業（6月3日） ◎今日の授業で一番大切だったことは？ お試して試合が出来るように道具の準備やルールの改善チームでの仕事の共有などをした。ルールの改善のために全校にアンケートを送ったりして全校が楽しめるようなイベント作りに入力した1時間だった。 自己評価 A	4回目の授業（6月12日） ◎今日の授業で一番大切だったことは？ 今日は実際に試合をしてみた。改善点が沢山見つかったからそこを直してチームで共有し、もっといい試合ができるようにしていきたい。 〈改善点〉 ・ゴールマンの台の位置 ・ゴールマンの周りの制限 ・相手ボールになった時のスタート位置 自己評価 A
5回目の授業（6月17日） ◎今日の授業で一番大切だったことは？ 今日はサッカーの体験をした。事前にチームを決めたり、コートを男女で分けて試合を行ったりしていた。自分達とは違う運営方法だったので、参考にして次に繋げていきたい。 自己評価 A	球技の単元を振り返って ◎授業を通しての学びは？ イベントを運営するのはSmile after schoolでやったことがあるけれど、運動系のイベントの企画は初めてだったので、どうしたら運動が苦手な人でも来てくれるのか、当日の盛り上げなど工夫することが沢山あった。その都度グループの人と話し合ったり、前日までよりよいイベントを求めて有効に時間を使うことができた。 自己評価 A

自ら考え判断する力 認め合い励まし合う力 自分の思いを表現する力 挑戦しやり抜く力

保健体育科学習指導要領
 豊かなスポーツライフの実現に向かって
 「生涯にわたって、運動やスポーツに親しみ、スポーツとの多様な関わり方を場面に応じて選択し、実践すること」



部活動改革によって生まれた新たな教育活動「放課後デザイナー活動」

生徒の**自主的・主体的な運営**で活動をデザインすることを通して
教育目標の実現に向けた資質・能力を育む環境を整備する



6. これからの課題 持続可能性への挑戦～教員の負担と保護者の負担～

(1) 白新ユナイテッド

音楽クラブの休止

保護者が設立したクラブに、音楽教諭が兼職兼業で指導。
地域の音楽イベントや校内のイベント、吹奏楽連盟のアンサンブルコンテスト等に出場。
活動1年で休止。理由はクラブ加入生徒が少なく、活動の維持が困難となったため。

活動時間の調整

白新ユナイテッドは、平日17時～19時まで。休日の1日は白新中の学校施設が利用可。
生徒は、放課後すぐに活動したい。指導できる指導者がいた場合には、17時より前に練習したい
長期休業中も同様の時間に設定しているが、午前中から指導可能な場合には練習したい

事務局担当は中学校教員

白新ユナイテッドは、学校運営協議会内に設立されている。事務局は白新中学校教員が担当。
連絡事項や各種調整役を担っている。今後は、地域人材に任せたいが、学校との連絡調整は必須。

6. これからの課題 持続可能性への挑戦～教員の負担と保護者の負担～

(2) 放課後デザイナー活動

職員の安全管理と支援体制

子どもの主体性を重んじる一方で、安全管理・安全指導が必要な場面がある。
生徒の「やりたい」をどこまで実現に繋げていくか、教師の力量が問われる。
活動を「ともに創出する」ことに、時間と労力がかかることもある。

活動の持続可能性

防災イベントは、防災訓練を授業で体験したことにより「自分たちも防災訓練をしたい」と
思う生徒が構想した。地域にとっても素晴らしい取組となったが、毎年定例で行うとなると
年間行事計画との兼ね合いから一部教員の負担の増加につながる恐れもある。

理念の共有とカリキュラムマネジメント

職員が異動するため、「放課後デザイナー活動」と「部活動」との違いについて、年度当初に
理念を共有することが求められる。定期的に活動に対する評価を行い検証することが必要である。

部活動「地域移行(展開)」の先の、学校づくり・地域づくりを見据えて

TAKE HOME MESSAGE

部活動改革「ブカツイノベーション」のゴールの姿

子どもたちの放課後をデザインし直すことを通して、
子どもたちが学校・地域をデザインすることができるようになる

「改革推進期間」をポジティブに捉え
より良いスポーツ・文化環境を構築することを通して、
この地域が発展するという「夢」を、携わる一人ひとりが描けること。

Creating the Future We Desire